



とつきび

2011/3

No. 64

発行／最上ふれあい学園
編集／最上ふれあい学園広報委員会

〒999-6105 山形県最上郡最上町大字富沢4467
TEL 0233-45-2236(代)・FAX 0233-45-2011
HPアドレス：<http://www.vega.ne.jp/mogamifg/>
Eメールアドレス：mogamifg@vega.nc.jp



P 2 園長挨拶・改修後の浴室紹介

P 3 雪まつり

P 4～5 フォトギャラリー

P 6 ふる里訪問・ボランティア・寄贈・行事予定・編集後記

新事業のスタートを全力で

えんちょう やま だ きり お
園長 山田 桐雄

今年一月から降り続いた大雪は、降雪が排雪を上回る毎日が続き、学園も二メートルを越す積雪となりました。開園以来の大雪に囲まれた学園の冬でしたが、雪による怪我、事故がなく安堵の胸をなでおろしております。昨年七月には開設二十周年記念式典・祝賀会を開催することができました。これも偏に、関係機関、地域、保護者のご支援の賜物と心から感謝いたしております。

さて、この四月には、いよいよ新事業体系の障害者支援施設に移行します。新事業の内容は、スタート当初は、生活介護事業、施設入所支援事業、短期入所事業、回中一時支援事業となります。その後の事業については、利用者や地域ニーズに沿った事業展開を図りたいと考えております。

区分認定調査については、昨年十二月に利用者全員が終了し、その結果についても、三月中には通知されます。また新事業に係る運営規程、業務推進体制、事業計画および収支予算の骨子をもとに、県、都への移行事務手続きを現在進めており、四月一日には確実に新事業のスタートができる予定です。

また、移行準備に大切な施設の基盤整備については、重度化、高齢化対策を柱に浴室の改修工事を行いました。改修工事については東京都から補助金交付を受けて実施し、介護浴槽については東京都共同募金会から助成を受けて設置いたしました。浴室も非常に明るく、一般浴槽、ユニットバス、介護浴槽の3種の浴槽が新たに設置され、利用者の特性に応じた、とても快適な入浴ができるようになりました。

平成三年の開設以来、措置制度から支援制度へ、この四月からは自立支援制度に基づく障害者支援施設の事業へと、目まぐるしく変わる制度ですが、利用者の幸福が、これまで以上に実現できるように、全力で新事業を推進してまいります。ご支援の程よろしくお願いいたします。

きれいな浴室が完成しました





この
モーターで引かれると... スゲー楽しいよ



はし はし
走る！走る！どこまでも...



まだまだ、いけるぞ ~ !!

ぜんじつ の 荒れた 天候が嘘のように晴れ渡った2月19日に21回目のふれあい学園雪祭りが行われました。

今年は例年になく豪雪で会場設営に大変苦労しました。節分行事も開会セレモニーとして行われ、鬼をまめで追い払い皆さんの無病息災を祈願しました。恒例となっています、ソリ滑り、スキー、スノーモービルに新しくボートを2台揃えて大雪原の醍醐味を感じていただけただけではないでしょうか。会場内では歓声や笑顔がこだましていました。みかんひろ拾いでは、くじをつけて昼食時に抽選を行いました。当たった皆さんは今年良い事があるのではないのでしょうか。

クライマックスはやはり御柴灯です。これはこの地方の小正月の伝統行事でもあり昨年の厄払いと今年一年の無事を祈る行事です。田坂さん、鈴木さんの手で点火され皆さんの思いの詰まった炎が青い空とのコント

ゆきまつ 雪祭り

ラストを描いていました。見つめる皆さんも色々な思いで見つめていたでしょう。又、来年のこの日迄たくさんの思い出を作りましょう。

昼食にはふれあいキッチン心のこもった牛肉弁当、かも汁、納豆汁、漬物も評判良く盛り沢山の内容で皆様も満足されたのではないのでしょうか。皆様に暖かく美味しい食事を提供できるよう厨房職員の皆さんはこの寒い中でも汗をかいて食事の準備に追われていたようです。休憩時間のお汁粉にレモンティーも寒い中では格別でしたね。

例年になく豪雪に見舞われた事で保護者の方々もご心配になられたと思いますが、利用者の皆さんは寒さにも負けず元気に生活し、保護者の皆様に会えた事で益々元気になる事でしょう。

雪祭りに参加していただいた皆様、大変有難うございました。お陰様で雪祭りが大変盛大に閉会することができました。又、来年もお待ちしております。

支援員 佐藤



「こわいな~」スピード？運転手？



「ただいま 加速中！」



みなさんは「かも汁」派？



「どちらもおいしいよ」



「今年も健康でありますように」

10月24日

地区防災協力会
参加の合同訓練

10月
しゅかくさい いこう
(収穫祭以降)



しょうか 消火 !!



せいれつ 整列 —— !!



ちいき みな 地域の皆さん、ご協力
きょうりやく ありがとうございます。



おいしいなあ～



ひがしね まえ 東根ジャスコ前にて



なに か 何買おうかな？

ラッキー 11月

買い物支援

かとう か ものしえん 各棟の買い物支援



たの 楽しいねえ～ !



たくさん買ったよ !!



ラーメンおいしそう ♡



食べるのに夢中です



とうかつどう とんじるつく 棟活動 - 豚汁作り



訓練棟棟活動風景



ハーイ！ チャンチャン!!



美女が整列... !?

新庄最上民謡サークル 慰問



おんせん は 温泉に入ってツルツル !!



輪投げ交流会





ほんばいかり
いっほ いっほ
一步一步フェスタ販売係

カキ
ザキ
株式会社
カキザキ
さん
ワックス
掛け
ボラン
ティア



ビューティフル
Beautiful !!



がっ

12月

クリスマスバイキング



よだれが止まらない



たくさんのご馳走

みんな
マックスバリュウの皆さん



やまも
山盛りケーキ



わたしたち
私達をアピール!

フォトキャ



あ
サンタさんに会えたね



スマイリー

クリスマス会



のこ
残さず完食



せいじん
成人あめでとう

1月
20



こっち見てえ〜



プレゼントもらいました



新年
カラオケ大会



きぶん
気分はノリノリ



みんな
皆、うたじょうず
歌上手だな



たの
カラオケ楽しいね

親子の絆…この時ほど強く感じた事はありませんでした。何年もの間、御両親は坪井さんに、会うため遠方から何度も学園に足を運んでくれましたが、年齢を重ねると共に体調を崩され、ここ数年の間は面会に来る事が出来ませんでした。坪井さん自身も会いに行く事が出来ず、私たちは、利用者とご家族を会わせたく動き出しました。ご両親や各関係機関との連携調整を重ね、11月14日それが実現することとなりました。実現するにあたって、私自身さまざまな不安がありました。何年もの間会っていない親子…ご両親は高齢になられている。その事で、理想と現実の間で不安になったり心配になったりしないかが気がかりでした。

でも、ご両親の姿を見つけ、その胸の中に飛び込んでいく坪井さんを見た時、親子にとっての数年など離れていてもけして崩れるものではなく、逆に見えない絆が存在しているように思えました。短い時間ではありましたが、会えなかった時間を埋めるかのように手を握り合い会話を続ける姿をみて、ふるさと訪問の企画を実施出来て良かったなと思いました。協力して下さったご家族・ご両親の皆さん、関係機関の皆さんに感謝しております。

ありがとうございました。 支援員 石山



だいまんぞく 大満足



ひさびさ 久しぶりね、お姉さん



とても喜んでもらえたよ



たの楽しいひと時...

- 寄贈
- *新庄・最上踊りサークル様
歯ブラシ・タオル多数
 - *マックスバリュ最上店様
クリスマスケーキ 13個
みかん 3kg×4箱

ご冥福をお祈りします
有路和子さん
いつまでも学園を見守っててください。

- ボランティア
- *株式会社 カキザキ様
6名 食堂・管理棟・体育室の清掃・ワックス掛け
 - 8名 私たちの家・くれよん・朋友館ワックス掛け
 - *新庄・最上踊りサークル様
25名 踊り慰問
 - *マックスバリュ最上店様
6名 ジャンケン大会
 - *新庄北最上高校様
11名 ハンドベル演奏



今年の冬は近年まれに見る大雪となりふれあいの里の積雪量も目を張るものがありました。冬来たりなば春遠からじ、厳しい冬があつてこそ喜ばしい春になります。世相を見ると冬が明けないのでと思われ、殺伐としたニュースであふれています。無縁社会、孤族、といった言葉がニュースや新聞にぎわっています。情報社会の苦が、ネットや携帯だけがのつながりで血の通ったつながりが見られなくなつて来ているのではないのでしょうか。ふれあいの学園では幸いに地域、保護者、利用者、職員と血の通つたつながりで今まで20年と言う歴史を刻んで来ました。来年度からは新体制となり新たな歴史を刻んでいきます。皆様の協力がなければ新たな歴史は刻んでいきません。これからもふれあいの学園を宜しくお願い致します。

編集後記

行事予定

4月	開園記念日
5月	観桜会
6月	スポーツフェスタ
7月	輪投げ交流会